

スマートシティ会津若松推進指針

<人間中心>

1. 地域に関わる人々が望み、持続可能な社会実現に向けた取り組みを推進すること
2. 全ての利用者がサービスを楽しみ、あらゆる主体が参画する共助型スマートシティの実現を目指すこと

<DXの基本的な考え方>

3. 非競争領域を地域の共有財産とするなど、三方良しの原則でデザインすること
4. 徹底したオプトイン（本人同意）により個人情報保護を確保し、プライバシーを確保すること
5. 生活圏単位への拡大や他地域への展開・連携を意識して推進すること

<サービスに必要な要件>

6. デジタルを活用した新たな公共・ガバナンスを構築し、市民の十分な理解と信頼を得るべく、透明性を担保すること
7. データ連携基盤を通じたサービス連携を遵守し、標準化の取り組みと連携して他地域との相互運用を図ること
8. サービスの安全性の確保、災害等の非常事態における継続性等の観点から、適切なセキュリティ、強靱性を確保すること

<持続可能性の確保>

9. 産学官がよく連携し、新しい地域運営モデルを確立し、ビジネスとして持続可能な自立化を図ること
10. サービスの開発・運営を通じて、地元企業に技術やノウハウを残すとともに、デジタル人材を地域で育成・維持すること

2024年（令和6年）3月 会津若松市